



WEEKLY BULLETIN

2019年1月10日 (3304例会) (創立68周年) 呉ロータリークラブ週報 NO.3218



インスピレーションになろう
2018~2019年度 パリールラシ RI会長テーマ

■呉RC 2018~2019年度テーマ 「感即動」

会長 森澤大司
副会長 楠孝三郎 幹事 太刀掛祐之
直前会長 神垣和典 会 計 向井淳滋 会長エレクト 志々田幸治
会場監督 石田直樹

(事務局) 〒737-0045 呉市本通4丁目8-12 (例会場) 〒737-0051 呉市中央1丁目1-1 呉阪急ホテル
呉商工会議所ビル南館7階 705号室 ☎(0823)20-1111 FAX(0823)20-1120
☎(0823)24-4411 FAX(0823)21-5692 (例会日時) 毎週木曜日 12:30~13:30
E-mail▶kure3rc@urban.ne.jp HP/URL▶http://www.kurerotaryclub.jp My Rotary▶https://my.rotary.org/ja/user

今週のメインプログラム

新年例会
年男「亥」卓話

次週のメインプログラム

ローターアクト委員会 担当例会

第3303例会記録【12月20日(木)】

【プログラム】		—— 呉 RC 冬季家族例会次第 ——		2018年12月20日(木) 18:00 ~ 呉阪急ホテル	
18:00	例会開始 点 鐘			18:15	懇親開始 (司会 親睦活動(委))
	RCソング 『奉仕の理想』				開宴挨拶 親睦活動(委) 中河原圭司 委員長
	お客様紹介 親睦活動(委)				乾 杯 神垣和典 直前会長
	会長挨拶 森澤大司 会長				歓 談
	委員会報告			18:50	チーム対抗 ゲーム 開始
	幹事報告 太刀掛祐之 幹事			19:30	ゲーム終了
	S・A・A				歓 談
	例会終了 点 鐘			19:50	懇親終了
					RCソング 『手に手つないで』
					閉宴挨拶 楠孝三郎 副会長
				19:55	閉 宴

- 【出席率】 12/6の補正 90.77% 今回 79.37% (会員70名・欠席13名・免除7名)
- 【来客】
 - ◇2018学年度 米山奨学生 付 宇倩様
 - ◇呉ローターアクトクラブ 会長 谷好 透様、直前会長 石原トミー様、創立40周年記念式典実行委員長 神田 大様、広報 中山雄一郎様、京極早紀様、正田貴大様
 - ◇会員ご家族
宇都宮春花・優水・優希・優心、宇都宮玲子、大村喜久子、尾川美雪、清宗有希子、奥原由希子・幸・太郎・佳、楠 恭子、坂田真由美、志々田智子、島村弘美、住田雅江、中河原綾子、藤井順子、松田淳子、森澤智与子、山村恭仔様 (順不同)
- 【他クラブ出席者】
 - ◇神垣・志々田君 (12/13 江田島) 沖田君 (12/10 北海道2500 ローターEクラブ) 畦・堀口・長行事君 (12/18 呉南) 山村・天野・荒川君 (12/19 呉東) 神垣・尾川・多賀君 (12/19 呉 RAC) 沖田君 (12/20 北海道2500 ローターEクラブ) 13名
- 【欠席者】
 - ◇青山・天野・大塩・神田 (朗)・佐々木・武田 (信)・谷山・長行事・中野・福田・増岡・三宅 (清)・沖田君 13名
- 【出席免除者】
 - ◇奥川・大矢・尾田・海生 (孝)・海生 (知)・梶山・武田 (保) 君 7名
- 【会長報告】
 - ◇退会式…濱崎正弘会員 退会式…会長より記念品贈呈及び送別挨拶
 - ◇感謝状贈呈 ローター米山記念奨学会…第2回米山功労者 志々田幸治君
 - ◇表彰 ローター財団…ポール・ハリス・フェロー 太刀掛祐之君
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (2回) 松浦秀夫君
- 【幹事報告】
 - ◇(公財) ローター米山記念奨学会…ハイライトよねやま No.224 (回覧)
 - ◇RI第2710地区事務局吉原ガバナ…第11期RLI-2710分科会研修パート1のご案内(回覧) 1月27日(日)10:00~17:00 広島YMCA 国際文化センター
 - ◇西条ロータリークラブ…例会場所変更のお知らせ。1/17(木)職場例会の為、白牡丹酒造(株)へ例会場変更。(回覧)
 - ◇呉東ロータリークラブ…例会変更と休会のお知らせ。1/16(水)12:30~シティプラザすぎやを職場例会の為、12:30~14:00 呉市立美術館別館へ変更。(回覧)
 - ◇呉南ロータリークラブ…事務局移転のご案内。2019年1月1日(火)より、シティプラザすぎや2Fに事務局を移転。電話・FAX 0823-32-0212
 - ◇12/27・1/3は休会。次回例会は、1/10です。(呉RC)
 - ◇本日は写真同好会の会員の皆様の写真が会場に展示されています。ぜひご覧下さい。
 - ◇「かが」体験航海の案内 (回覧)
- 【委員会報告】
 - ◇岩本 出席・プログラム委員長…11月出席報告 11月出席率94.57%、通算平均出席率93.22%

【S.A.A】

- ニコニコ
- ◇多賀 茂君…本日呉 RAC 創立40周年のPRをさせていただきます。
- ◇藤井清実君…広島県神社庁の2019年度のポスターに、私の息子が載りました。
- ◇住田佳樹君…呉RCゴルフコンペで優勝しました。ロコモスクワットの効果でしょうか!
- ◇長行事義人君…呉RCゴルフコンペでホールインワンをしました。
- ◇尾川 匠君…呉RCゴルフコンペでいいことがありました。
- ◎ニコニコ基金累計金額 1,055,000円



- 【今週の子定】
 - ◇1月10日(木) 13:40 ~ 第7回定例理事会 呉阪急ホテル
 - ◇1月17日(木) 12:30 ~ 1月第2例会 呉阪急ホテル

年男として



武田 保信

今年は亥年。十二支の殿に有る事は知っているが、元々、小生は干支とか易にあまり興味が無く、振り返って見ても、己の人生の節目、変り目は、何れも我が亥年を外れて起っている。但し、今回に限り、七度目

の年男になった幸せを素直に感じている。されど、八回目を迎える事は有り得ないと、つい最近迄は考えて居たが、有り難い事に、この10年～20年の医学の進歩は目覚ましく、幾つもの病を抱えて居る身乍ら、八度目は fifty-fifty 以上の割合で、元気で過しているかも……と、今は思う様になっている。

しかし、商売屋の隠居として、これからの社会、経済界の^{すさま}しい変化に、心配の種をも、同時に背負って行かなければならないかも知れず、何れにしても難儀な事では有る。

年男を迎えて



堀口 勝哉

亥年の今年、とうとう6回目の年男を迎えます。亥年の正月はいつもそうですが、これまでの自分史とこの時代を回顧することがもっぱらとなっています。

私たちの生まれた昭和22年は、日本国憲法の制定、六・三・三制の発足、さらにベビーブームやフジヤマのトビウオ誕生など、ニッポン再生へ向けて力強くスタートした年です。

それから12年後の一回目のときは、皇太子殿下のご成婚、テレビが爆発的に売れた年でした。そして浮世はカミナリ族やタフガイ裕次郎ブームで新時代があふれていました。

二回目は高度経済成長時代の真っ只中で、すでに

私もなりたての社会人していました。この年に1ドル360円が崩れ、変動相場制へ移行しました。

三度目のときは、おしんどROOM、軽薄短小が時代のキーワード。また広島カープの第一期黄金時代の末期でした。この頃は呉JCで使い走りの頃です。

平成7年の四回目は、バブル経済破綻のツケで合理化・リストラ時代。私は呉RC入会7年目にして初めての理事(国際奉仕)に選任されました。

還暦を迎えた五回目、孔子の言う「耳順」の域にはほど遠いことを痛感。さらなる修養を誓った筈でしたが……。

あれからまたたく間に12年が経過した今、何の進歩も成長も実感できない自分自身に焦りと苛立ちすら感じます。

それでも、六回目の亥年を迎える自分史の中で、人生百年のターニングポイントをふるさと呉の街で、そして呉ロータリーで力の限り生きていきたいと思っています。

還暦を迎えて



番場 真吾

奇遇にも昭和と平成が30年ずつ。そして本卦還りのことし新しい時代に入る、ちょうど社会の節目が人生と重なる世代です。自然豊かな世羅で生まれ育ち、大学から故郷を離れて今や広島や東京、山口などで暮らした期間の方が倍になりました。

振り返ると、大きな転機は就職先を決めたときだっ

たように思います。学生時代、将来の道を考えても定まらず迷っていたとき、司馬遼太郎の「竜馬がゆく」の一節が心に響きました。「竜馬は日本最初のジャーナリストだった」。運良く中国新聞に入り、政治や経済、事件などのいろいろな取材現場を歩き、今思えば仕事に対しては「猪突猛進」型だったかとも思います。

そんな私も、ここ呉に来て、職業奉仕という考えを大切にされる諸先輩や同輩の方々々と接し、より広く深く、仕事や人生修養について考える機会を得ることができました。耳順うともいわれる年を、呉ロータリークラブにいるときに迎えることは大いなる運の強さであると感謝しています。ことしもよろしく願いいたします。

年男として



長尾 正嗣

2019年の干支は己亥(つちのとい)です。己(つちのとい)は、十干(じっかん)の6番目。植物の成長に例えると、草木が成長を終えて姿が整った状態を表します。亥(い・がい)は、十二支の最後にあたり、同じく植物に例えると、草や花が枯れ落ちて、植物の生命が引き継がれて種の中にエネルギーがこもっている

還暦を迎えて



中河原 圭司

明けましておめでとうございます。

5回目の年男です。昭和天皇・皇后両陛下が後楽園球場の巨人-阪神戦をご観戦。初の天覧試合にふさわしく、4対4の9回裏、長嶋茂雄が村山投手から劇的なサヨナラ本塁打を放ち、5対4で巨人が勝利した1959(昭和34)年、呉市に生まれて59年と10か月、とうとう今年還暦を迎えます。私の60年を大まかに振

年男「亥」を迎えて



三宅 清嗣

新春のお慶びを申し上げます。皆様におかれましては、素晴らしい年末年始を過ごされたものと拝察いたします。さて、年男として文章を何か書くように、神田委員長様より依頼をお受けしたのが、確か12月の第一例会だったと記憶しております。さて、依頼をお受けしたのは良いが、何を書けば良いのか少し迷いました。と申しますのも、5回目の年男になりますので、いわば人生の節目と申しませうか、一区切りと申し

状態です。己(つちのとい)の年は、完成成熟した組織が、足元を固めて、次の段階を目指す準備をする年といわれています。亥の季節は冬です。春の芽吹きまで、じっと固い種の中でエネルギーを内にこめているといわれています。まさに次の時代に向かっていく時と思います。平成の世があつと4ヶ月でおわり、新しい年号にかかります。

小生は昭和と平成の時代を生きてきて新しい年号を還暦でむかえることとなります。還暦とは生まれた時に戻ってくるということで第二の人生の始まりとされ、還暦で仕事を引退、定年ということが多いです。しかし仕事柄、定年はなく一生現役です。これからも日々精進していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

り返ると、最初の20年は「やればできる子なのに」と言われ続けた少年時代と学業より遊び優先の学生時代でした。次の20年は地元企業に就職し、がむしゃらに働いたサラリーマン時代でした。入社1年目に新工場の立ち上げに携わり、その後15年間製造現場から営業まですべての部門を経験することができ、多くのことを学ぶことが出来ました。そしてこの20年は、急逝した父に代わり、41歳で社長就任。たくさん失敗も経験しましたが、なんとか乗り切ってきました。支えてくださった多くの方々へ心より感謝申し上げます。

これからも、呉RCをはじめさまざまな場所での人とのご縁(つながり)を大事にして、精進してまいりたいと思ひます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひいたします。

ましようか、年男云々より、その「還暦」という言葉の意味を重く深く感じています。リセット?リスタート?リストラクチャリング(再構築)?の機会と捉えて、焦らずに何かにチャレンジして行くつもりです。その何かとは、まだ秘密です。でも、やりたい事はたくさんあるので、取捨選択が最初かも知れません。文字数制限があるので、これ位にしておきますが、好きなフレーズをご紹介します結びとさせていただきます。

I say it's fine to be 60 (60歳って元気だねと言うと)
You say it's alright to be 70 (あなたは70歳でも大丈夫よと言います)

And they say it's still good to be 80 (みんな80歳でもまだまだいけると言います)

But I'll maybe live over 90 (私はたぶん90歳以上生きるでしょうね)

竹内まりあ「人生の扉」より

年男を迎えて

長行事 義人



年男と言うより、還暦です。

誰が一番ショックを受けてるかと言えば、うちの母親です。息子が還暦を迎える事が、想像に無かったようです。

私の方は、還暦を楽しみにしています。人生一巡したら、今度は違う生活態度や趣味を持ちたいと思います。

年男です！ 「耳順」です！

仮井 康裕



子曰、「吾十有五而志於学。三十而立。四十而不惑。五十而知天命。六十而耳順。七十而從心所欲、不踰矩。」
〔論語 為政第二〕

今年ではや60歳。孔子が言うところの「耳順」です。「耳順」は『品性の修養が進み、聞くことが直ちに理解

まず、酒です。酒好きであり、酒量も多い方です。休肝日を設けてはおりますが、還暦後は、酒を空けるのではなく、たまに酒を飲む程度にしたいと思います。

次に趣味です。まずはバードウォッチング。今年の冬は二河公園にもカワセミが居ました。今年の夏はブッポウソウ、秋には鷹の渡りを、見に行きます。次に歴史を感じながら、寺社仏閣・城などを見て回りたいです。五木寛之の百時巡礼の近場版、司馬遼太郎の城を歩くの、歩いてない城を歩いてみたいです。

仕事に関しても、ちょっと新しい事を始めてみようかなと、思ってます。まだ中身はナイショですが・・・ゴルフの事や、私の4大メジャーの事も書きたかったのですが、それはまた別の機会に！

でき、なんらさしさわりも起こらない境地の意』(日本国語大辞典)とのことです。子どものころは60歳の人にはもう隠居した「おじいさん」だと思っており、何となくイメージできる気がしていましたが、いざ自分が60歳を迎えると「耳順」どころか「知命」もなく、さらには「不惑」でもない今の状態に愕然としてしまいます。とてもあと10年で「従心」の境地にはたどり着けそうにありません。

ということで与えられた使命もよくわからず、惑いだらけで今日までできましたが、人の意見に素直に耳を傾けられる人間にはなれるよう努力してまいります。皆さま今年もご指導の程よろしくお願ひします。

生涯スポーツ？

武田 信寛



地方のハングライダーエリアは、どこも高齢化が進んでいる。私も、生涯スポーツだと思ってやってきたハングライダー一だけ、一つ歳をとるとつい考えてしまう。

「自分の翼をたたむ時について」

日本にはスクールも少なく、新たに始める人もいない。新参者がいなくて、みんな毎年歳とっていくんだから、高齢化は当たり前だよね。

スクールのある地域だって、学生と高齢者の二極化。大学卒業したら忙しくなるし、結婚、子育て、ますます飛べる時間なんてなくなって辞めていく。反対に長年飛んでなかった昔のフライヤーが、子育て終了と同時にカムバックしたり、時間ができたオッサンが第二の人生で始めたり。高齢化が進むわけだ。

高齢者の自動車事故など、このままでは深刻な社会問題。これってスカイスポーツ界だって他人事じゃない。

そもそもリスクなスポーツだし、一瞬の判断や驕りが事故につながる。マイナーなスポーツだけに事故が与える仲間たちへの社会的影響も大きい。飛び続けるために

は、体力だけでなく気力がある。

「私は、大丈夫」なんて思っていること自体危険。そもそも身体能力に自信があってこんなことやっている人ばかりだから、自分の技能を過信し続けてしまう。だから考えてしまう。「自分の翼をたたむ時について」

そんな悩み多き還暦の私、年末はいつものように九州のフライトエリアへ行った。

寒気が入り気温減率が高いのはいいが、雲が発達し過ぎてしまうオーバーキャスト。上昇風は穏やか過ぎ、辛うじてカラダに反応する気流にライダーを捻じ込む。1mずつゲインを重ね、極寒の雲の世界へ。

この程度のフライトでも、楽しい。こんな楽しいこと、辞められるか!?

というわけで、まだまだ飛び続けます。

人付き合いの悪い奴と見捨てないでください。晴れてる限り、休暇はハングライダーだけのために存在します。

毎週かわりばえしないフライト仲間と、かわりばえしない会話に、毎週笑って、毎週風を読んで、飛び終わった後、楽しかったその日のフライトを自慢し合う週末をこれからもずうーっつと続けます。

体力が、すっかりなくなるまで飛び続けます。体力がなくなっても、気力で飛び続けます。気力がなくなっても、精神力で飛び続けます。まだまだ先は長い。覚悟してください。

